

三浦記念賞表彰式



佐藤市長を挟んで左に井上弓子氏、右に和合成治氏、(株)ヤマコン佐藤隆彦社長

晴れの「三浦記念賞」受賞

和合成治氏 井上弓子氏 (株)ヤマコン

産業経済の向上に功績があった個人、団体をたたえる「三浦記念賞」

の表彰式が12月8日、パレスクラウンで行われ、いずれも会議所会員の山形市中小企業連盟会長の和合成治氏、山形商工会議所副会頭（女性会会長）で高嶋電機(株)代表取締役会長の井上弓子氏、コンクリート圧送業の(株)ヤマコン（佐藤隆彦代表取締役社長）の2個人と1団体に、三浦新七博士記念会の代表理事・佐藤

孝弘山形市長から賞状と記念品が贈られた。

三浦記念賞は、両羽銀行（現・山形銀行）頭取として、また、山形商工経済会会頭として戦前、戦時下において本県産業界をけん引した三浦新七博士の遺徳を永く記念するため、昭和38年に公益財団法人を設立し、山形市の産業界発展に寄与した個人、団体を表彰している。これまでに今回を含めて90個人、55団体がその榮譽に輝いている。

和合氏は市中小企業連盟会長として高いリーダーシップを発揮し、会員団体や若手従事者の育成・指導に貢献。また、山形県米穀商業協同組合理事長として、衰退傾向にあった米穀業界の将来を見据えて事業統合に手腕をふるい、県産米のブランド力強化と流通拡大に貢献している。

井上氏は社業の発展に努めるとともに、会議所初の女性副会頭、女性会会長に就任し、地域経済の活性化、女性経営者の交流促進、資質向上に尽力。さらに、みやぎ・やまがた女性交流機構の会長として、県や業種の枠を超えて女性の能力が発揮できる環境作りに取り組んでいる。

(株)ヤマコンは昭和41年創業。以来、

県内はもとより県外にも営業所を開設し、さらにはM&A等を行って企業及び業容を拡大するとともに、日本初の自昇式のコンクリートデスクトリビューターを導入し首都圏の高層ビル建設工事に寄与するなど、日本最大規模のコンクリート圧送業者の地位を確立している。

式では佐藤市長が、「本市の先導的役割を担っていただき、その尽力に敬意を表する。産業、経済の発展と地域振興のため一層の力添えをお願いしたい」とあいさつ。これに応えて和合氏は、「受賞を知らされて以来、その重みを実感している。真面目にひたむきに努力したことを認めていただき感謝している」。

昭和54年の母高島しづ枝氏に続き、親子2代の受賞となった井上氏は、「事業を継ぐため山形に戻って20年。多くの方々から感謝している。微力ながらも、女性が活躍する社会の実現に貢献していきたい」。(株)ヤマコンの佐藤社長は、「設立50周年の記念の年に歴史ある賞に預かり身の引き締まる思いだ。これからの50年にエールを送っていただいた」と、それぞれ感謝と決意を述べた。

式後、平成26年に受賞した清野伸昭会頭をはじめ歴代受賞者、三浦新一郎山形銀行代表取締役専務ら記念会役員が出席し祝賀会が開かれた。